

令和3年度(2021年度)

管理事業名	博物館事業			総合計画の体系	大綱 7 政策 2 施策 2	都市魅力 文化・スポーツに親しめるまちづくり 文化財の保存と活用
主な歳出 予算科目	一般会計	(款) 10	教育費	(項) 5	社会教育費	(目) 8 博物館費
部局名	地域教育部	予算執行所属	文化財保護課			
予算大事業名 博物館事業	上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名					
事業の目的と概要 ・地域の歴史・文化に関する歴史資料等を調査研究し、必要に応じて資料を収集・保管し、良好な状態で次世代に継承していきます。その成果をさまざまな展示や講演会等の普及活動、刊行物等により発信することで市民主体の生涯学習活動を支援し、地域の歴史・文化を発見、見直し、創造していきます。 ・市民が集い、多様な体験を活かしながら主体的に博物館活動に参加することで、さまざまな連携を深め、市民生活を豊かな潤いのあるものとします。						

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	成果指標の定義
特別展等回数	回	7	3	5	特別展や企画展などの年間開催回数
刊行物数	数	8	7	7	調査研究活動を公表する刊行物数
収蔵資料数	点	28,408	29,209	29,939	良好な状態で保管している館蔵資料の数
成果の説明	令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止策として一定期間臨時休館したため、春季特別展や夏季展示等の開催は中止となりましたが、5回の特別展等の展覧会と関連イベントを実施しました。吹田市立博物館のホームページのバーチャルミュージアムでは、オンラインでの講座や講演会といったコンテンツを新たに11本公開し、デジタル化による博物館の事業を展開しました。刊行物としては展示図録、博物館だより、博物館館報を刊行し、調査成果を発表するとともに、中学校の歴史学習教材のデジタル版を提供しました。館蔵資料については、特別収蔵庫、一般収蔵庫の収蔵庫燻蒸を実施し、良好な状態で保管しています。また、新規受入資料に対して年間2回の燻蒸を行いました。				

II 財務情報

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	令和元年度	令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	707	401	492	91
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	397	281	393	112
経常収入 小計(a)	1,103	682	885	203
給与関係費	49,062	52,571	54,253	1,682
物件費	64,459	71,529	184,962	113,433
維持補修費	23,710	3,038	26,769	23,731
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	1,195	696	373	△323
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	57,469	57,597	58,249	652
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	3,294	3,287	3,477	190
退職手当引当金繰入額	798	4,705	5,102	397
支払利息	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	199,987	193,422	333,184	139,762
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△198,884	△192,741	△332,300	△139,559
特別収入	-	-	-	-
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
特別費用	-	-	-	-
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別支出 小計(e)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	-	-
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△198,884	△192,741	△332,300	△139,559
一般財源充当額	144,769	133,658	476,352	342,694
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	△54,114	△59,082	144,052	203,135

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
物件費	主に、吹田市立博物館改修工事(建築工事)108,243千円と館蔵美術工芸資料運搬・保管委託業務4,342千円による増
維持補修費	主に、吹田市立博物館改修工事(防水工事)20,657千円と、吹田市立博物館揚水ポンプ交換修繕1,737千円による増

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表

(単位:千円)

区分	令和元年度	令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	1,103	682	885	203
行政サービス活動支出	144,590	134,340	272,577	138,237
行政サービス活動収支差額	△143,487	△133,658	△271,692	△138,034
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	1,282	-	204,660	204,660
投資活動収支差額	△1,282	-	△204,660	△204,660
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	-	-	-	-
財務活動収支差額	-	-	-	-
収支差額 合計	△144,769	△133,658	△476,352	△342,694
一般財源充当額	144,769	133,658	476,352	342,694
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の主な内容	(投資活動支出) 吹田市立博物館改修工事(工事監理含む)87,309千円、吹田市立博物館空調設備更新工事117,351千円
----------	--

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
特別展等回数	令和元年度	7回	28,569,571円	特別展等を前年度より多く開催しましたが、それ以上に物件費(改修工事費)等の支出が増加したため、単位あたりコストが増加しました。
	令和2年度	3回	64,474,000円	
	令和3年度	5回	66,636,800円	
	令和元年度		円	
	令和2年度		円	
	令和3年度		円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	令和2年度末 A	令和3年度末 B	差額 B-A	勘定科目	令和2年度末 A	令和3年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	3,287	3,477	190
未収金	-	-	-	地方債	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	短期借入金	-	-	-
短期貸付金	-	-	-	賞与引当金	3,287	3,477	190
徴収不能引当金	-	-	-	未払金	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
有形固定資産	1,183,066	1,329,734	146,668	その他流動負債	-	-	-
土地	-	-	-	固定負債	32,628	34,797	2,168
建物・工作物	1,183,066	1,329,734	146,668	地方債	-	-	-
リース資産	-	-	-	長期借入金	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	退職手当引当金	32,628	34,797	2,168
無形固定資産	297	297	-	リース債務	-	-	-
有形固定資産	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
土地	-	-	-	負債の部合計	35,915	38,274	2,359
建物・工作物	-	-	-	純資産	1,154,346	1,298,398	144,052
建設仮勘定	-	-	-	重要物品	-	-	-
重要物品	6,898	6,641	△256	図書館資料	-	-	-
図書館資料	-	-	-	投資その他の資産	-	-	-
投資その他の資産	-	-	-	出資金	-	-	-
出資金	-	-	-	長期貸付金	-	-	-
長期貸付金	-	-	-	基金	-	-	-
基金	-	-	-	徴収不能引当金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	その他債権	-	-	-
その他債権	-	-	-	純資産の部合計	1,154,346	1,298,398	144,052
資産の部合計	1,190,261	1,336,672	146,411	負債及び純資産の部合計	1,190,261	1,336,672	146,411

Ⅲ 財務構造分析

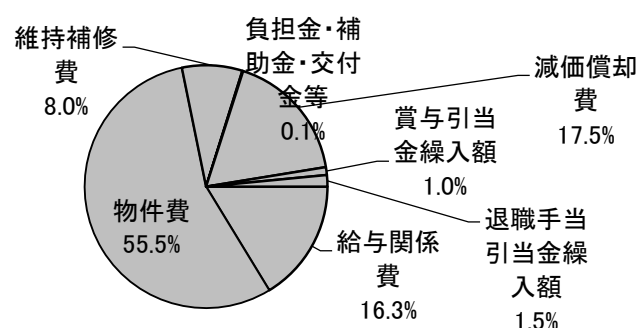
▽人にかかるコストの内訳

事業従事人数	常勤・再任用	会計年度任用等	特別職非常勤	合計(千円)
	月平均	年間従事延日数	年間従事延日数	
	6人	728日	122日	
給与関係費等	42,966千円	16,140千円	3,726千円	62,832
内、時間外勤務手当	2,141千円			

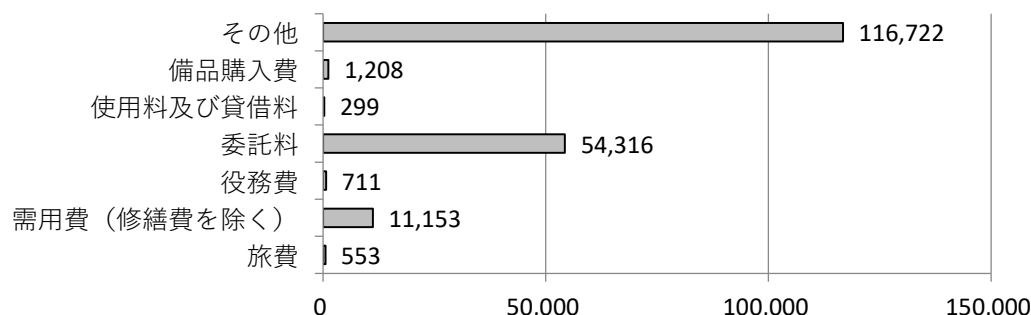
貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由
事業用資産 建物・工作物	博物館改修工事及び空調設備更新工事による価値の増
重要物品	重要物品償却額 △256千円

▽経常費用の構成割合



物件費の内訳(単位:千円)



▽施設の概況

施設の名称	吹田市立博物館
取得年月日	平成4年(1992年)3月30日
建物・工作物の取得価額	3,002,479 千円
建物・工作物の減価償却累計額	1,672,745 千円
利用料金収入	492 千円

▽分析指標

分析指標	年度	(単位:%)			差 B-A
		令和元年度	令和2年度 A	令和3年度 B	
施設維持補修費比率		0.8	0.1	0.9	0.8
施設老朽化比率		55.7	57.7	55.7	△2.0
受益者負担比率		0.4	0.2	0.1	△0.1
徴収不能引当率		-	-	-	-
一般財源充当比率		99.2	99.5	99.8	0.3
経常費用対公共資産比率		7.1	6.9	11.1	4.2

【参考:市保有施設全体の老朽化比率は57.6%】

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

新型コロナウイルス感染症の感染対策をとりながら特別展等を開催し、デジタルコンテンツの公開を実施しました。令和3年度は改修工事の実施により、経常経費の物件費、維持補修費が前年度と比較して大幅に増加しました。それにより、経常費用の構成は、物件費及び維持補修費で全体の6割超を占めています。改修工事により、建物老朽化比率が前年度と比較して2.0ポイント改善しました。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

吹田市立博物館は開館から29年以上が経過し、建物に付随する電気、機械、空調設備の老朽化が進行しており、施設の機能を維持するために設備の更新、補修が引き続き必要です。そのため財政負担の平準化の視点も入れて、吹田市公共施設(一般建築物)個別施設計画の作成が進められています。令和2年度から令和3年度にかけて吹田市立博物館空調設備更新工事を実施し、令和3年度に屋上防水・外壁を含む吹田市立博物館改修工事を実施しました。また、令和4年度には、吹田市公共施設最適化計画に基づき、エレベーター改修工事を実施する予定です。なお、同個別施設計画において令和9年度から令和12年度の間に進める大規模修繕を実施する予定です。